

大使館便り

第200号 令和元年11月12日
在ポルトガル日本国大使館

1. 新美大使からのご挨拶

以前、今年が徳島・レイリア両市の姉妹都市50周年に当たり、その祝賀行事等について御相談するために私が徳島市を訪問させて頂いたこととお話ししましたが、去る10月9日、尾池修二徳島日本ポルトガル協会会長を団長とする徳島市訪問団を迎え、レイリア市において50周年の祝賀行事が開催されました。

一連の祝賀イベントは午後3時から夜10時半頃まで続きましたが、新しく就任されたロペス・レイリア市長は、ほとんどの時間、訪問団と行動を共にされ、感謝に堪えませんでした（カストロ前市長は先日の共和国議会選挙に当選し、国政に転じられたため、ロペス氏が副市長から市長の座に就かれました）。

さて、祝賀イベントの目玉の一つとして、あわ工芸座の方々による人形浄瑠璃が上演されました。徳島の人形浄瑠璃は、農村舞台と呼ばれる野外で公演されていたことから人形が大きいのが特徴で、それを生かした独自の動きもあるそうです。福島県の檜枝岐村等、郷土伝統芸能として歌舞伎はしばしば耳にしてきましたが、寡分にして人形浄瑠璃についてはあまり耳にしたことがありませんでした。人形浄瑠璃が長く大切に受け継がれてきた、徳島の文化的土壌の豊かさを感じます。

あわ工芸座の方々は、翌日、リスボンにおいても、日本語補習授業校が間借りされているドン・ペドロ5世高校で公演をされました。上演された演目の一つ、戎舞（えびすまい）は、戎さまが船で沖に出て大きな鯛を釣り上げる様を、ユーモラスにコミカルに描くものです。レイリアでこれを拝見した時、かつてベトナムで観た水上人形劇と、庶民的でひょうきんなタッチが似ていると思いました。リスボンの公演は拝見できませんでしたが、戎様がポルトガルにやってきて、イワシを釣り上げるというオチに脚色されており、生徒さん達から喝采を浴びたということです。

日本、ポルトガル双方の関係者の皆様、お疲れ様でした。



2. 政治・経済関係

(1) DBRS、ポルトガル国債の格付け見通しを引き上げ

10月4日、カナダの格付会社DBRSは、ポルトガル国債の信用格付を投資適格級の2段階の「BBB」から「BBB (high)」に1段階引き上げ、格付見通しは「安定的」としました。

(2) ポルトガル共和国議会選挙最終結果

22日、選挙管理委員会は、10月6日に実施された共和国議会選挙の最終結果を官報に公表しました。投票率は48.60%で、政党別の得票率及び議席数は以下のとおりとなりました。

政党	得票率	議席数
社会党 (PS)	38.20%	108
社会民主党 (PSD)	29.18%	79
左翼連合 (BE)	10.01%	19
統一民主同盟 (CDU) (*)	6.66%	12
民衆党 (CDS-PP)	4.44%	5
人と動物と自然の党 (PAN)	3.49%	4
シェーガ党 (CH)	1.35%	1
リベラル主導党 (IL)	1.35%	1
自由党 (L)	1.14%	1

(注) ポルトガル国会は一院制で、定員230議席です。

(*) ポルトガル共産党 (PCP) + 緑の党 (PEV)

(3) カヴァコ・シルヴァ前大統領が即位の礼に出席

天皇陛下の即位を国内外に広く知らしめる儀式、即位の礼が22日に執り行われ、ポルトガルからはカヴァコ・シルヴァ前大統領及び夫人が即位礼正殿の儀、饗宴の儀及び23日行われた安倍総理夫妻主催晩餐会に出席しました。

(4) 共和国議会議長の再選出

25日、第14会期共和国議会の第1回本会議が召集され、178票（投票総数230票、有効票）の絶対多数を獲得したフェロ・ロドリゲス氏が議長に再選出されました。

(5) 第二次コスタ政権発足

26日、アジュダ宮殿にて第二次アントニオ・コスタ社会党政権の就任式（首相及び19大臣、50副大臣）が行われました。就任後の演説において、レベロ・デ・ソウザ大統領は、ポルトガル国民からの大きな期待に応えるには厳しい財政状況である旨述べ、新政権は集中と選択、優先順位付けを行った上で国民に対してははっきりとした回答を示し、特定の人やグループの利益でなく、国益を優先することが重要である旨述べました。これに対し、コスタ首相は、「4年前の最大の課題は緊縮財政に耐えた国の新たな1ページをめくることであつたとしたら、今後4年間の課題は持続可能な繁栄を社会全体で分かち合うことであり、より良い国へと成長できる可能性があるからこそ、プレッシャーも非常に大きい」と述べ、今次政権の4大優先的課題は、気候変動対策、人口減少対策、デジタル移行及び社会的不均衡の改善である旨述べました。

同日午後、新政権初の閣議が開催され、30～31日、同綱領は共和国議会での審議を経て承認されました。

第二次コスタ政権の閣僚名簿（19名中14名続投，○5名が新任）は以下のとおりです。

首相：アントニオ・コスタ

経済・デジタル移行大臣：ペドロ・シザ・ヴィエイラ

外務大臣：アウグスト・サントス・シルヴァ

閣議大臣：マリアーナ・ヴィエイラ・ダ・シルヴァ

財務大臣：マリオ・センチーノ

国防大臣：ジョアン・ゴメス・クラヴィーニョ

内務大臣：エドゥアルド・カブリタ

法務大臣：フランシスカ・ヴァン・ドゥーネン

○国家刷新・行政大臣：アレシャンドラ・レイタン

企画大臣：ネルソン・ソウザ

文化大臣：グラッサ・フォンセカ

科学技術・高等教育大臣：マヌエル・エイトール

教育大臣：ティアゴ・ブランダン・ロドリゲス

○労働・連帯・社会保障大臣：アナ・メンデス・ゴディニョ

保健大臣：マルタ・テミード

環境・気候変動大臣：ジョアン・ペドロ・マトス・フェルナンデス

インフラ・住宅大臣：ペドロ・ヌノ・サントス

○領土結合：アナ・アブルニョーザ

○農業大臣：マリア・ド・セウ・アルブケルケ

○海洋大臣：リカルド・セラノ・サントス

3. 広報・文化関係

(イベント)

●石井春アズレージョ展「光と陰翳 京都からリスボンへ」の開催

リスボン水の博物館 (Museu da Água) において、アズレージョ作家石井春氏による標記アズレージョ展が以下の通り開催されています。

日時：10月25日（金）～2020年1月5日（日）

会場：Museu da Água

住所：Reservatório da Mãe d'Água das Amoreiras, Praça das Amoreiras 8, 1250-020 Lisboa

受講料：4ユーロ（施設入場料）

(報告)

●Study Abroad

10月20日、岩波書記官はポルト市内にて実施された Study Abroad フェアに参加し、日本政府による国費外国人留学生制度につき約50名に個別説明会を実施しました。本 Study Abroad フェアには

約 30 の団体・企業が出展し、200 名ほどの来場者がありました。

●徳島・レイリア姉妹都市締結 50 周年記念行事

10月9日、レイリア市において、徳島・レイリア姉妹都市締結50周年記念行事が実施されました。本記念行事の一環として、新美大使による対日貿易にかかる講演会を実施しました。同講演会には、レイリア市周辺より約10社（陶磁器、飲料、繊維、テクノロジー分野の企業）、25名ほどが参加し、新美大使は、本年2月に発効された日EU・EPA協定他につき説明を行いました。また、市庁舎横のとくしま通りの新プレート除幕式等が行われた他、サンカルロス劇場に行われた記念式典においては、ロペス・レイリア市長、カストロ国会議員（前レイリア市長）他約200名が出席し、これまでの長きに亘る両市友好関係をお祝いした他、徳島あわ工芸座による人形浄瑠璃公演も行われました。

翌10日にはリスボン市における人形浄瑠璃公演及び大使公邸におけるレセプションも開催され、日ポ両国の友好関係の証である本姉妹都市50周年を祝賀しました。



ロペス市長による歓迎レセプション



とくしま通りの新プレート除幕式

●レイリア市に対する外務大臣表彰伝達式

10月9日、レイリア市にて実施された「徳島市・レイリア市姉妹都市締結50周年記念式典」の機会に、レイリア市に対する外務大臣表彰伝達式が行われました。徳島市からの訪問団及びレイリア市民等約200名が参加した式典では、日ポ間姉妹都市第一号であり、50年に及ぶ両市の友好関係を祝し、新美大使からロペス・レイリア市長に表彰状が転達されました。



(お知らせ)

●広報文化班からのお知らせ

今後、当館主(共)催による日本関連イベント開催に当たり、大使館便りに加えてEメールによる招待状やイベント情報の送付を希望される方は、cultural@lb.mofa.go.jpまでご連絡下さい。

4. 領事関係

(1) 在留届に関するお願い

近年、海外で生活する日本人が急増し、このため海外で事件や事故等思わぬ災害に巻き込まれるケースが増加しています。万一、在留邦人の皆様がこのような事態に遭われた場合には、日本国大使館や総領事館は「在留届」を基に皆様の所在地や緊急連絡先又は日本国内の連絡先等を確認して援護活動を行っています。

当館でも、皆様に提出いただいた在留届により連絡先の把握を行い、大使館からの海外危険情報や広報文化活動などの情報提供、緊急時の連絡網整備、安否確認に役立てているところです。

このため、[ポルトガル国内での転居](#)、[日本への帰国](#)、[他国への転出等](#)、在留届の届け出事項に変更が生じた後、引き続きこの大使館便りをご覧の方は、速やかにその旨を下記領事班あてにE-mailにてご連絡下さい。

また、皆様の友人・知人で「ポルトガルに居住しているが、まだ在留届を提出していない方」がおられましたら、届出を行うようご案内下さい。

(2) 第三国出国の際の「たびレジ」登録のお願い

在留届を提出されている在留邦人の皆様は、普段は海外安全情報配信サービス「たびレジ」に登録する必要はございません。しかし、休暇、出張等、第三国にお出かけの際には、是非「たびレジ」の登録をお願いいたします。「たびレジ」に登録すると、渡航先の大使馆・総領事館から、日本語で最新の安全情報がメールで届きます。また、大規模な事件・事故、テロ、自然災害等緊急連絡のメールが届き、安否の確認や必要な支援などを受けることができます。

登録はこちら：<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/index.html>

(3) 海外に住んでいても、国政選挙への投票が可能に！

在外投票を行うには、在外選挙人名簿に登録され、あらかじめ在外選挙人証を取得しておく必要があります。在外選挙登録申請手続きについてはこちらをご参照下さい。：

<https://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/senkyo/flow.html>

(4) 当館領事業務へのご意見募集

当館では、領事サービスの向上を図るため、皆様からのご意見を募集しています。どのような些細な事柄でも結構ですので、ご意見・ご要望等があれば、お気軽に下記領事班あてにE-mailにてご連絡下さい。

在ポルトガル日本国大使館(領事班)

住所：Avenida da Liberdade 245-6 1269-033 Lisboa

TEL：21-311-0560 FAX：21-354-3975 E-mail：consular@lb.mofa.go.jp